

GLOBAL TIMES VOL.11

能勢高校 SGH中間発表会

11月7日(水)、能勢高校SGH中間発表会を、第16回能勢地域小中高一貫教育・連携型中高一貫教育研究発表会と併せて、能勢高校にて開催しました。『グローバル人材の育成』というテーマのもと、その第一部としてSGH中間発表を行いました。

まず、能勢高校2年SG選択生徒15名(タイからの留学生カオファンさんも参加)が『能勢紹介』を英語で発表しました。次に、8月に行った海外・国内実態調査(モンゴル・鳥取)の報告を行いました。そして、今回の発表のキーワードとなるSDGsについて説明した後、課題研究『モンゴル 貧困とストリートチルドレン～自立的な地域社会の構築と相互連携～SDGsの視点から～』、『鳥取県～鳥取での地方創生を能勢に活かす』をテーマに発表を行いました。その後、豊中高校能勢分校1年グローバルスタディー(GS)受講者4名が『能勢町でのシャットベルケ活用について～能勢の活性化の起爆剤として～』を発表しました。

海外・国内実態調査の報告とそれに関する課題研究(「地方創生」「貧困」「教育」)の発表と、幅広い内容となりました。今後は、この内容を能勢の地域活性化の具体案につなげていくよう、2月の最終発表に向けて、課題研究をさらに掘り下げていきます。



●講座と講師の紹介●

●1年GS課題探究基礎講座

第3回 9/3(月) 『世界で活躍するNGOオイスカ』

●清水 利春 さん(オイスカ関西研修センター所長)

大阪府豊能町にあるオイスカ関西研修センターでは、海外からのたくさんの研修生が日本で技術習得に励んでいます。それを支えるオイスカの役割について学びました。

第4回 9/6(木) 『ビジネスプラン意見交換会』

●比留間 大輔 さん(日本政策金融公庫大阪創業支援センター所長)

7月に堺で行われた「高校生ビジネスコンテストSTEP2018」で発表してきた二つの提案について、「ビジネスプラン・グランプリ」のエントリーに向け、比留間さんと貴重な意見交換を行うことができました。

第5回 9/27(木) 『文化祭事前準備交流会』

●清水 利春 さん(オイスカ関西研修センター所長)、今岡 良子 さん(大阪大学准教授)

文化祭で行う、フィリピン伝統菓子“カモテQ”の販売(残念ながら台風で開催順延のため中止)と、モンゴルの羊毛を使った羊のマスコット作りワークショップのため、事前準備を兼ねた交流を行いました。オイスカ関西研修センターから清水所長とフィリピン人研修生11名、今岡先生と大阪大学モンゴル人留学生のツェネさんに来ていただきました。



第6回 10/25(木) 『マレーシアについて』

●セリーナ さん(マレーシアからの短期留学生)

セリーナさんは、マレー語、中国語、日本語、英語を話します。今回は英語を使い、マレーシアの文化、宗教、慣習、ファッション、食べ物など、多民族国家ならではのプレゼンテーションとなりました。彼女も能勢分校で様々な経験を積み、たくさんの思い出を作り帰国しました。



第7回 10/29(月) 『私たちの地域にとってのSDGsとは』

●榎原 友樹 さん(株式会社E-konzal代表) ※能勢町地域連携公開講座第1回



能勢町と能勢高校・豊中高校能勢分校が連携し、SDGs(持続可能な開発目標)を達成するために能勢町でできることを考えるため、「持続可能な地域づくり」をテーマに掲げて、全3回の公開講座を行うこととなりました。その第1回目の講座です。

能勢町の現状と課題について、能勢町役場の方より説明がありました。その後、「世界はもはや持続不可能なものに溢れており、日本も例外ではない」と、SDGsの17のゴールを順に取り上げ、今起きている日本の問題について詳しい説明が展開されました。

第8回 11/8(木) 『日本版シュタットベルケと地域活性化の取組み』

●磯部 達 さん(みやまスマートエネルギー株式会社代表) ※能勢町地域連携公開講座第2回
福岡県みやま市では、ドイツのシュタットベルケ(自治体が出資した公社)をモデルに「みやまスマートエネルギー」を設立し、電力の地産地消による地域活性化に取り組んでいます。1年生は能勢町版シュタットベルケを作れないかと、課題研究に取り組んでいます。磯部さんの「高校生が中心となって町づくりを」の言葉が強く心に残りました。



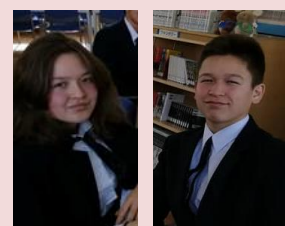
第9回 11/21(水) 『ドイツに学ぶ～エネルギーから考える能勢町を元気にするための方法』

●川又 孝太郎 さん(環境省環境計画課長 前在ドイツ日本国大使館参事官) ※能勢町地域連携公開講座第3回
5月に行われた前回の講座をもとに、再生可能エネルギーを増やすために高校生として何ができるか、ドイツでの取組みや、能勢町の将来の展望と可能性をふまえ、最後にグループ討議を行いました。能勢町で何ができるかを真剣に考えました。



第10回 11/26(月) 『オーストラリアについて』

●ロバーツ みき さん、ロバーツ 真修 さん(オーストラリアからの短期留学生)
オーストラリアからの姉弟留学生です。マッシューさんが英語でプレゼンテーションを、姉のミキさんが日本語に通訳するという形で、オーストラリアについてプレゼンテーションを行いました。能勢では両親と一緒に約1ヶ月間滞在し、能勢高校生と授業を受けました。



●1年GS 課題探究重点講座

第1・2・4・5回 『英語プレゼンテーション講座』

●ティモシー・カーン さん(関西学院大学講師)

9月から能勢中学校・吉川中学校の3年生と能勢分校1年生も参加して、土曜講習として英語でのコミュニケーション、プレゼンテーション力の育成講座を行っています。



第3回 10/13(土) 『土曜講習～よのなか科』

●藤岡 慎二 さん(北陸大学教授)

中学3年生と高校1年生で「よのなか科」を実施。テーマは「制服の問題を考える～あなたは私服派?制服派?」。講師から様々な考え方、世界の状況、日本の状況を学び、グループごとに制服が必要か否かを議論し、意見を出し合いました。多様な考えを聞くことの大切さ、話し合うことの重要性、熟議を学ぶ良い機会となりました。



●2年SG 基礎知識講座

第5回 9/12(水) 『先輩が語る』

●小路 昌秀 さん、山田 寛 さん、大城 桜子 さん(能勢高校SGH卒業生)

本校でSGHを学んだ卒業生の3名が、在校生へ熱いメッセージを送りました。



第6回 10/31(水) 『マレーシア熱帯雨林の生態系について』

●乾 陽子 さん(大阪教育大学准教授)

「熱帯雨林の破壊が大規模に進み、急激なスピードで絶滅危惧種が増えている」、という危機的な状況に我々が直面していることがわかり、自分たちの生活とのかかわりについて学びました。

第7回 11/28(水) 『アメリカの人種問題と人権～多民族国家での人権～』

●荻野 克彦 さん(公益財団法人箕面市国際交流協会理事)

「地域再生は日本の大きな課題であり、地域の長所を生かすためにもグローバルな視点が必要である。そのためにも文化の違いを理解し、受け入れることが必要だ」とお話されました。



第8回 12/5(水) 『異文化理解・多文化共生～自らが決める異文化理解・多文化共生～』

●鳥羽山 良平さん(公益財団法人箕面市国際交流協会)

学校へ行かなかったという経歴の中、悩みながらも経験を重ね、「語学」という得意分野を見つけ、自分の決断で進学したという、これまでとは違った切り口からの「異文化理解・多文化共生」のお話で、大変興味深い講演でした。



● 2年 SG 重点分野講座

第 21・22・24・25・26・27・28・32 回 課題研究講座

『モンゴルの文化・歴史・社会～貧困とストリートチルドレン～』

●今岡 良子 さん(大阪大学准教授)

『モンゴル 貧困とストリートチルドレン～自立的な地域社会の構築と相互連携～』をテーマに、モンゴル地域づくりセンター、NGOの活動などについて、研究発表会に向けた課題研究を進めています。

第 23 回 9/20 (木) 『2030 SDGs カードゲーム』

●藤田 美保 さん(NPO 法人「箕面こどもの森学園」校長)

SDGs カードゲームを通し、持続可能なまちづくりに SDGs をどのように活かすかを学びました。今年度本校 SGH 活動では、SDGs に目を向け、能勢ではどんな活動ができるかを考えています。『一人ひとり、微力であっても無力ではない』という言葉が強く心に残りました。



SDGs(Sustainable Development 持続可能な開発目標)とは 2015 年国連サミットにて採択され、国連加盟 193 カ国が 2016 年～2030 年の 15 年間で達成することを目標とした行動計画です。『人間が人間らしく生きる』ため、17 の大きな目標と、具体的な 169 のターゲットで構成されています。

第 29 回 11/8 (木) 『フェアトレードの仕組みと実際』

●斎藤 和子 さん、テリー さん(fairtrade shop & cafe エスペーロ能勢オーナー)

エスペーロ能勢は、能勢の築 100 年の古民家を改築し、箕面から移転してきたフェアトレードショップです。フェアトレードについてや、なぜ「能勢」だったのかなどのお話を聞くことができました。



第 30 回 11/15 (木) 『能勢の活性化を考える』

●斉藤 俊幸 さん(総務省地域再生マネージャー)

研究発表会に向け、能勢町の地方創生をどのように考えていけばよいのかというアドバイスと、パワーポイントの効果的な使用方法を学びました。



第 31 回 11/20 (火) 『高校生と地域課題を考える』※能勢町教育委員会生涯教育課との共同公開講座

●山野 則子 さん(大阪府立大学教授)

「子どもの貧困～今の日本の課題、能勢町から見てきた課題～」と題し、子どもの貧困の現状についての講演の後、地域の方々とともに能勢の活性化について話し合いました。

第 33 回 11/29 (木) 『途上国からのブランド作りに学ぶ』



●濱口 香織 さん(株式会社マザーハウス)

(株)マザーハウスは「途上国から世界に通用するブランドを」をモットーに、アジア5か国で原材料と技術を活かしたモノ作りを進めています。各国に自社工場を持ち、素材を活かした物を作り、消費者に届けることで、フェアトレードとは異なる価値観の国際貢献ビジネスを展開しています。能勢にしかない素材と技術を活かし、地域を発展させるアイデアを考える機会となりました。



第 34 回 12/6 (木) 『ユニセフの地球規模問題解決法～私のライフスタイルから世界を変えていく～』



●久木田 純 さん(関西学院大学教授)

地球規模の危機に気がついた世界は、はたして profitable (もうけが多い) から sustainable (持続可能な) 世界に向かえるのか。ユニセフでの活動や SDGs が策定されるまでのお話について、グループワークでは「人類は果たして 22 世紀を迎えることができるのか? Yes か No か」を考えました。SDGs の考え方から地球規模の問題を解決していけることを学び、SDGs の考え方や取り組みを、自分たちのこととして捉える大きな機会となりました。

● 3年 SG 基礎知識講座



第 2 回 9/6 (木) 『旅が教えてくれること』

●三上 順子 さん(農家民宿「みちくさ」オーナー)

世界各地でのホームステイやファームステイ経験から、バックパッカーとして海外を旅する方法や食文化について学びました。その後、児童虐待防止機構理事長 島田妙子さんの雑誌記事を読んで感想を発表するワークショップを行いました。

第3回 10/11 (木) 『タイについて』

●カオファン さん(タイからの長期留学生)

タイの紹介から始まり、学校生活、日本の印象などを語りました。30分近いプレゼンテーションを完璧な日本語で話しました。カオファンさんはまもなく2月に帰国します。



第4回 11/29 (木) 『貿易ゲーム』

●武田 緑 さん(教育コーディネーター)

ゲームを通して、資源も技術も無い国は、何もできず困っていること、反対にある国はたくさんのお金を集める事ができるという体験ができました。現実国際社会が抱える問題を考え、解決方法まで思いを巡らせました。



校外学習・国際交流

■高校生ビジネスコンテスト STEP2018 (堺市総合福祉会館)

7月28日(土)、1年生GS講座生徒から男女別2チームが自分達のアイデアを多くの人に発信し、その道のプロからたくさんのアドバイスを受けました。そして、『ビジネスプラン・グランプリ』エントリーに向けて、さらに熟考を重ねました。



■モンゴルひつじフェア (箕面市立多文化交流センター)

10月14日(日)、1年生GS講座生徒7名が本校所有のゲルを設営し、SGHの活動をパネル展示しました。羊マスコット作りのワークショップも行いました。



■東大寺英語観光ガイドにチャレンジ

11月17日(土)、1年GS、2年SG講座生徒24名が大阪国際大学の学生とともに、東大寺にて積極的に外国人観光客に声をかけ、英語観光ガイドにチャレンジしました。

■能勢町里山保全活動(能勢さとやま創造館)

12月2日(日)、学校近くの里山“荒木谷”にて、2月の植樹のための“地ごしらえ”として、山の斜面で伐採作業を行いました。昨年に続き、菊炭クラブのメンバー「山のサムライ」の指導のもと、能勢高校、能勢分校で地域の里山保全活動に取り組み、地域活性化の大きな一歩となりました。

スムーズスペース交流

豊中高校をはじめ、各地とスムーズスペースをつなぎ、活発にSGH課題研究の発表やディスカッションなど、交流活動を行っています。

▶豊中高校スムーズスペース交流会 9/8(土)、9/26(水)、11/7(水)
9/8は豊中高校の文化祭に参加し、豊中高校PTAに向けてのプレゼンテーションや、本校産の黒米やブドウジャムのチャリティー販売を行いました。

▶NTTGROUP COLLECTION 11/14(水)

NTT西日本主催のイベントに参加し、能勢高校とグランキューブ大阪(大阪府立国際会議場)をつなぎ、能勢高校からSGHのプレゼンテーションやガムラン演奏を行いました。

▶島根県立隠岐島前高校スムーズスペース接続交流 12/4(火)

▶宮崎県立飯野高校スムーズスペース接続交流 12/18(火)



能勢高校からグランキューブ大阪



グランキューブ大阪から能勢高校

この秋、地元、各地域のイベントに参加し、SGHの課題研究発表を行いました。

- ☆8月24日(金)能勢小中学校PTA
- ☆9月1日(土)能勢高校SGH運営指導委員会
- ☆10月2日(火)能勢高校文化祭
- ☆10月12日(金)能勢の高校を応援する会
- ☆11月3日(土)能勢町文化フェスティバル
- ☆11月10日(土)モンゴル祭り
- ☆11月11日(日)豊能町とよのまつり
- ☆12月16日(日)総合学科教育研究大会

A F S留学生としてマレーシアで1年間長期留学に行っていた齊藤依乃里さんが、12月末、無事に帰国しました。詳しくは次号でお伝えします!!

留学生が帰ってきました!

SGH研究発表会 2月9日(土) 12:45~ 場所: 浄るりシアター
一年間の成果を発表します ぜひお越しくださいませ!!